

## DV

## ドメスティック・バイオレンスを理解しよう！

暴力をふるわれる方に  
問題があるのでは…？

どんな理由であれ、  
暴力をふるう側に  
責任があります。

暴力をふるう人は「言うことを聞かないからだ」  
など様々な理由をあげますが、どんな理由でも  
暴力は許されるものではありません。  
「私の方が悪いのでは」と思いこむ必要もありません。

なぜ被害者は  
逃げないのですか？

暴力を受け続けている事で  
心身が傷つき、  
逃げる気力も体力も  
失われてしまいます。

経済的な不安、親・きょうだい・子どもに  
被害が及ぶのでは…、連れ戻されてもっと  
ひどい目に合うのでは…と考え、逃げるこ  
とをあきらめてしまうのです。

暴力をふるう人は  
特別な人でしょうか？

加害者に特別な  
タイプというの  
はありません。

暴力をふるう人の、年齢・学歴・職業は  
特定されないことが各種の調査で分かっ  
ています。外では温和で愛想の良い人が  
暴力をふるっていることも珍しくありま  
せん。

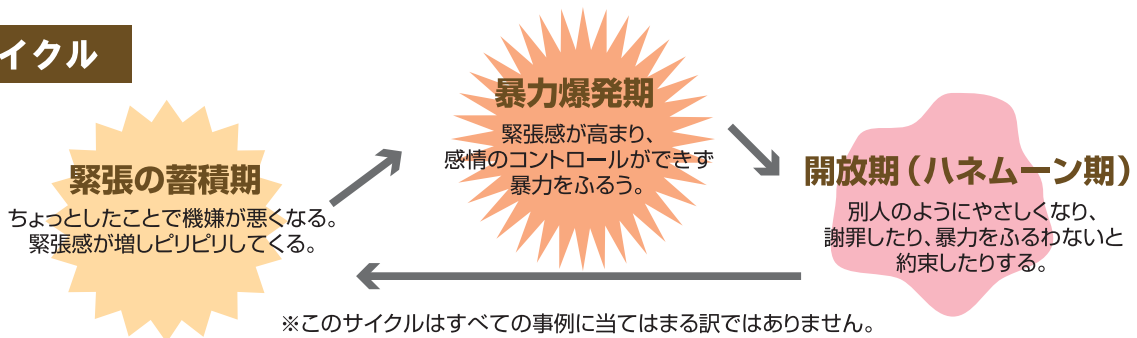
子どものために  
ガマンした方がよいのでは？

DVは子どもの  
心身発達、  
成育過程に影響します。

暴力を目撃したことによって、子どもの  
心身の発達や成長に悪影響が及ぶことが  
あります。またDVは被害者の基本的人  
権を侵す暴力であることから、ガマン  
する必要はありません。

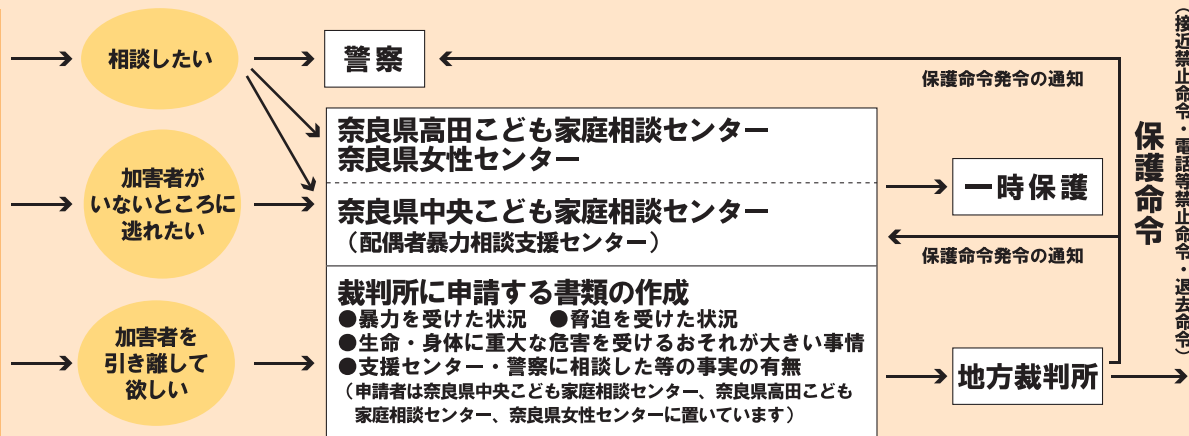


## 暴力のサイクル



## 被害者支援の流れ

## 暴力を受けている被害者



※配偶者暴力防止法は配偶者からの暴力又は生命等に対する脅迫を受けた者を対象にしており、夫が被害者の場合も保護されます。  
配偶者には事実婚や元配偶者も含まれます。